

## 第3学年道徳学習指導案

日 時 平成25年9月17日(火) 5校時  
 学 級 3年1組 31名  
 指 導 者 小 川 拓(花巻市立東和中学校)  
 共同研究者 佐 藤 奈津子(花巻市立南城中学校)  
 外 館 秀 幸(花巻市立石鳥谷小学校)

1 主題名 自律・責任【1-(3)】 ※ 関連項目 規律・秩序【4-(1)】

2 資料名 「鏡の中のわたし」 (出典:「きらり道徳」正進社)

3 主題設定について

(1) 価値について

情報は、他者とのコミュニケーションはかたり、安全に暮らしたり、わたしたちが快適に生活をするうえで重要なはたらきをしている。現在は情報がデジタル化が急速に進み、だれでも簡単にインターネットを利用して情報を収集・発信することができるようになった。掲示板やソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)を利用し、自ら情報を書き込んだり、相手の書き込んだ情報を見たり、ネット上で情報をやりとりする状況が当たり前になりつつある。自分のことを明らかにしなくても情報のやりとりができる匿名性が高い掲示板はもちろん、匿名性が低いといわれるSNSにおいても、不特定多数の人とつながりを持つことが可能であり、実際に誹謗・中傷による「人権侵害」、個人情報の流出による「本人なりすまし」や「不正アクセス」などのトラブルも世界中で多発している。このようなトラブルが多発している情報社会において互いが快適に生活していくために、ネット上で情報を収集・発信する場面では、ネットワークの特性を理解したうえで自分を律し適切に行動できる正しい判断力と、自分の行動に責任をもつ態度が重要であると考えられる。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、全体的に素直で、生活態度も落ち着きがある。これまで大きなトラブルもなく、男女ともに仲良く学校生活を送っており、6月下旬に行った生活アンケートにおいても、「学校生活は楽しいですか。」という質問に対して、学級の生徒31人中、30人の生徒が「すごく楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている。「学校生活が楽しい」というアンケート結果は、友人関係が良好であることを示していると判断できるが、実際に学校での生徒の様子を観察すると、友人を大切にしたい気持ちがあるためか、物事の判断が自分の考えによるものではなく、周囲の行動や言動に左右される場面がよくみられる。つまり、自分を律し適切に行動できる正しい判断力に欠け、自分の行動に責任をもつことができない傾向にある。6月下旬に行った生活アンケートでは、「メール」「インターネット」の利用調査も行ったが、ネット上で「トラブルにあったことがある」という生徒はいなかった。しかし、中学校卒業後に携帯電話(スマートフォン)を持つ生徒が増えることが予想され、それに伴い、インターネット(電子掲示板やSNSなど)の利用率、利用時間も増え、トラブルに巻き込まれる危険性も大きくなる。将来、ネット上のトラブルに巻き込まれることなく、互いが快適に生活を送るためにも、中学校3年生この時期に、情報モラルの適切な指導を行い、自分を律し適切に行動できる正しい判断力と、自分の行動に責任をもつ態度を育成することが必要である。

		ア.自分の携帯	イ.家族の携帯	ウ.パソコン	エ.ゲーム機など	オ.していない
自宅で「メール」をやっていますか。		2人	1人	3人	1人	25人
メールがらみでトラブルに あったことがありますか。	ある	0	0	0	0	
	ない	2人	1人	3人	1人	
自宅で「インターネット」をやっていますか。		1人	3人	10人	4人	14人
ネット上で「書き込み」を したことがありますか。	ある	0	0	0	0	
	ない	1人	3人	10人	4人	
インターネットがらみでトラブルに あったことがありますか。	ある	0	0	0	0	
	ない	1人	3人	10人	4人	

### (3) 資料について

学校の裏サイトの掲示板に、主人公の友人を名指しで誹謗・中傷する内容が書き込まれたことをきっかけに、主人公が友人の裏切りとも言える行為により、クラスの生徒にいじめられるようになってしまう、という話である。望ましい友人関係について考えさせられる資料ではあるが、本時は、トラブルのきっかけとなった「ネット上の書き込み（裏サイトの掲示板）」に主眼を置き、情報モラルについて考えさせたい。技術・家庭科において情報モラルの学習を行っており、情報を扱う場面でのマナーやルールは知識として理解はできている。道徳における情報モラルの学習では、知識の習得ではなく、情報を扱う場面で正しい判断をし、自らの行動に責任をもつことの大切さに気付かせたい。よって、資料の人間関係には深入りせず、「自分のとるべき行動」は何かを考えさせることで、道徳的実践力を確かなものにしていきたい。

## 4 指導の構想

道徳の時間で重視したいことは、「対話（内省を促す交流）」によって、道徳的価値の自覚の深化を図ることである。道徳的価値とは、「よりよく生きようとするときの指針」であり、本来、外から与えられるものではなく自分自身が主体的に求めるものであるから、教師の一方的な価値の押しつけにならないよう、十分に配慮し授業を進めていくことが求められる。そこで「対話」を通して、道徳的価値の自覚を深めることを重視していきたいと考えた。また、道徳的価値の自覚については、発達段階で多様に捉えることができ、学習指導要領に記されている3点は、①道徳的価値を理解すること、②道徳的価値を自分のこととの関わりでとらえること、③道徳的価値を自分なりに発展させることである。これらの発達段階に配慮して、道徳的価値の自覚を深めることで、道徳的実践を行うための内面的な力、つまり、道徳的実践力を確かなものにしていきたい。

## 5 本時のねらい

「ネット上の書き込み」の便利さや楽しさだけではなくその問題点を理解し、「ネット上の書き込み」を閲覧する場面において、自ら考え、判断し、責任のある行動をしようとする態度を育成する。

道徳的価値の自覚の深化	本時のねらいを達成するために
① 道徳的価値を理解する	資料をもとに、「ネット上の書き込み」の楽しさや便利さだけではなく、その問題点を気づかせる。
② 道徳的価値を自分のこととの関わりでとらえる	資料の中の主人公の立場に立ち、「ネット上の書き込み」を閲覧する場面において、正しい判断と責任ある行動は何か、自分の考えをもたせる。
③ 道徳的価値を自分なりに発展させる	今後自分が「ネット上の書き込み」を閲覧する場面で、その情報に対して正しい判断をし、責任ある行動をとろうという意志をもたせる。

## 6 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	期待する生徒の反応	指導上の留意点(・)評価(※)
導入 5分	<p>1 「ネット上の書き込み」の実例から、その便利さについて実感する。</p> <p>○この実例をみて、「ネット上の書き込み」について、どのような事を感じましたか。</p> <p>○この書き込みを行った人は、どのような人だと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みを、多くの人に相談できるので便利である。</li> <li>・気軽に何でも相談できるので、自分もやってみたい。</li> <li>・20歳ぐらいの、若いお母さん。</li> <li>・初めての子どもを持ち、子育てに悩んでいるお母さん。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネット上の書き込み」の便利さ、楽しさを実感させる。</li> <li>・ネットの向こう側の相手が実態までは分からない、というネットの特性を理解させる。</li> </ul>
展開 40分	<p>2 資料「鏡の中のわたし」のあらすじを確認し、話し合う。</p> <p>○この掲示板の「書き込み」の問題点は何でしょうか。またどのような人が書き込んだのでしょうか。</p> <p>○掲示板の書き込みを見たあと、優奈はどういう気持ちで彩花に「メール」を送ったのでしょうか。</p> <p>○掲示板の書き込みを見たあと、優奈がどういう行動をとったら、「いじめられる」状況にならなかったのでしょうか。</p> <p>3 話し合いを通して、今後の自分のとるべき行動について考える。</p> <p>○実際に自分が「ネット上の書き込み」を見たあと、どんなことに気をつけて行動するべきだと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の悪口を書き込んだ点。</li> <li>・個人名を書き込んだ点。</li> <li>・七海や美咲たちが書き込んだ。</li> <li>・彩花のことが嫌いな人な女子。</li> <li>・いたずらで男子が書き込んだ。</li> <li>・同じ強化選手で、ライバルでもある他校の生徒。</li> <li>・優奈が落ち込んでいると思い、心配してメールを送った。</li> <li>・このことをきっかけに、以前のようにメールのやりとりをしたいと思います。</li> <li>・先生に相談するべきだ。</li> <li>・メールではなく、本人と直接話せば良かったと思う。</li> <li>・誰とでも話そうという気持ちを持ち、クラスみんなに相談すれば良かったと思う。</li> <li>・ネット上に書き込まれた内容に深入りすること無く、自分でしっかりと考え行動するべきだ。</li> <li>・自分の思い込みで、書き込んだ人を決めつけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は事前に読んでおき、本時では、あらすじをイラストで掲示して確認する。</li> <li>・「ネット上の書き込み」で、やってはいけないことを確認する。</li> <li>・「ネットの書き込み」は誰でも行うことができ、実際は誰が行ったか分からない、ということを理解させる。</li> <li>※「ネット上の書き込み」の問題点を理解できたか。(発言)</li> <li>・資料の人間関係に深入りせず「友情の在り方」ではなく「自らの行動の在り方」について考えさせる。</li> <li>・より多様な考えを出し合えるように、小グループでの考えを交流し、その後全体で考えを深めさせる。</li> <li>※優奈の立場になり、どうすべきだったかを考えることができたか。(ワークシート)</li> <li>※「ネット上の書き込み」を閲覧するとき、その情報に対して正しい判断をし、責任ある行動をとろうという意思がみられたか。(ワークシート)</li> </ul>
終末 5分	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットの特性を再度確認し、本時で考えたことを今後の生活の場面で生かせるように意識させる。</li> </ul>

## 7 本時の評価

- ① □資料をもとに、「ネット上の書き込み」の楽しさや便利さだけではなく、その問題点に気づくことができたか。(生徒の発言)
- ② 「ネット上の書き込み」を閲覧する場面において、資料をもとに主人公の立場で、正しい判断と責任ある行動を自ら考えることができたか。(ワークシート)
- ③ 「ネット上の書き込み」を閲覧する場面において、その情報に対して正しい判断をし、責任のある行動をしようという意思をもてたか。(ワークシート)